

## I. 薬局・医療機関関連

### I. 昨年6月オンライン診療136回

2019年6月審査分のレセプトでは、**オンライン診療が136回**しか算定されていなかったことが明らかになった。同診療料が新設された2018年の6月が85回であったのに比べると倍近い増加ではあるが、絶対数が少なく当時は浸透していなかったことが明らかになった。今回の新型コロナウイルス感染症の影響でどれほど伸びているのか、報告が待たれる。

### II. 4月被用者保険22.9%減

社会保険診療報酬支払基金によると、2020年4月の被用者保険の診療分は件数が**前年同月比22.9%減**、**金額は同じく10.7%減**となった。件数の減少幅より金額の減少幅が低いのは、単価の高い診療よりも、単価の低い診療の減少割合が大きいからだと考えられる。新型コロナウイルス感染症対策で、軽症患者の方が医療機関受診を抑制しているという仮説を裏付ける形になった。

### III. 調剤報酬5月は11%減

日本薬剤師会の調査によると、2020年5月の**調剤報酬は前年同月比11.6%減少**となった。処方せん受付回数は24.3%減、薬学管理料含む調剤技術料は18.8%減となっている。一方で特定保険材料料を合わせた

薬剤料は8.8%減と、全体の減少幅と比べると少ない。薬局に訪問する回数を減らすため処方期間を延ばすなどしたことが影響していると考えられる。また、電話など通信機器を使用した服薬指導は2,890回であった。

### IV. 日本医師会、中川氏が新会長に

日本医師会は任期満了に伴う会長選挙で、新しく**中川俊男氏**を会長に選出した。中川新会長は選挙後の記者会見で、医師が倒産などの心配をせず安心して診療に集中できる環境をつくるのが最大の使命だとして、厚労省や財務省などに積極的に働きかけていく意向を示した。

### V. 医療機関のレジ袋問題

厚労省は保険薬局が、保険調剤を行う際、一部負担金以外の現金を原則受け取れないルールになっているが、7月からの全面的なレジ袋有料化に伴い患者から**別途レジ袋代を徴収することは薬担規則に抵触しないとする内容の事務連絡**を行った。その際にサービスの内容や料金など患者にあらかじめ明確かつ懇切に説明し同意を得た上で徴収することとしている。7月からおおよそ2円ほどのレジ袋代金のために、丁寧なひと手間が増えることになるようだ。

## II. 行政・技術関連情報

### I. 認知症の行方不明者

昨年1年間の認知症(疑いを含む)の行方不明者は延べ 17,479 人となり、過去最多を更新したことが警察庁の調べで明らかになった。増加は7年連続である。都道府県別にみると、大阪府が最も多く2007人であった。行方不明者17,479人のうち16,775人は昨年中に無事が確認されており、7割は届け出を受理した当日に無事が確認されている。

### II. すい臓がんなりやすい遺伝子

愛知がんセンターは、すい臓がんのなりやすさに関連する遺伝子を発見したと発表した。この変異は西洋人にはほとんど見られず、東洋人には見られる。日本人の1割が持っていると推定されている。すい臓がん患者4千人とそうではない人4万1500人の全ゲノムを網羅的に解析したところ、16番染色体にある「GP2」という遺伝子の変異がすい臓がんのリスクを上昇させていることが分かった。

### III. 大分大学新学科創設へ

大分大学は、医学部にメディカル・イノベーション学科を新設する構想を発表した。生命科学や臨床工学、医療経営の専門職を要請する3つのコースを想定しており、2023年4月の開設に向けて文部科学省と協議を進める。同大の医学

部には医学科と看護学科はあるが、技術系の人材を育成するカリキュラムがなく、今後需要が拡大するだろう技術系人材の育成にも力を入れていく。

### IV. 水泳、ぜんそくに効果なし

国立成育医療研究センターの研究チームは、2003年11月から2005年12月に同センターで生まれた1100人に対し、3歳時点で水泳教室に通っているか、ぜんそく、鼻炎の症状があるかを調べ5歳になるまで経過を観察したが、アレルギー症状の予防や治療効果は確認できなかった。一方で水泳は塵や埃のない環境で、呼吸リズムを整えながら行う運動であり、外で激しい運動を行うよりはぜんそく患者の体力作りには向いているという考え方もあり、治療効果はなくともQOL向上には役立つ可能性はある。

### V. iPSで免疫細胞、がん患者に投与

理化学研究所と千葉大学の研究チームは、頭頸部がんの患者にiPS細胞で作製した免疫細胞を移植する治験を開始する。使用するのはナチュラルキラーT細胞と呼ばれる細胞で健康な人の血液から採取し、iPS細胞にしたうえで、それを再びナチュラルキラーT細胞に変化させて移植される。

### Ⅲ. 企業関連情報

#### I. がん光免疫療法

楽天メディカルの光免疫療法で使う新薬「APS-1929」に関して、臨床試験の結果を待たずに製造販売承認が得られる条件付き早期承認制度が適用された。再発頭頸部がんが対象となる。特定の細胞に光感受性物質を運び、光を照射することで細胞を壊死させる手法であり、医療機器レーザー照射システムも審査を受けている。

#### II. 「ベネクレクタ」適応追加申請

アヴィ合同会社は、抗がん剤「ベネクレクタ」に関して急性骨髄性白血病（AML）の適応追加申請を行ったと発表した。同剤は BCL-2 と呼ばれる体内の特定たんぱく質を標的とする経口 BCL-2 阻害剤である。いくつかのがんでは、BCL-2 ががん細胞の自然死や自己破壊の過程を阻止する。この自己破壊の過程を回復させる作用があり、AML 治療の新たな選択肢として期待される。

#### III. ADHD 治療用アプリ、FDA 承認

塩野義製薬は、米 Akili Interactive Labs が開発し、日本と台湾での独占的販売権を塩野義製薬が取得している ADHD 治療用アプリ「ALK-T01」に関して FDA より ADHD における不注意症状の改善を適応として承認を取得したと発表した。日本では塩野

義製薬が臨床試験を行っている。認知機能で重要な働きをする脳の前頭前野を活性化するように設計されている。

#### IV. CAR-T 細胞療法、BMS が申請

ブリistolマイヤーズスクイブは子会社セルジーンが CD19 を標的とする自家抗原受容体 T 細胞（CAR-T 細胞）療法「JCRA017」に関して、再発又は難治性の大細胞型 B 細胞リンパ腫を対象とした再生医療等製造販売承認申請を日本で行ったと発表した。厚労省から希少疾病用再生医療等製品に指定されている。

#### V. ノボ、Corvidia 社を買収

ノボノルディスクファーマは、米国の Corvidia セラピューティクス社を買収する契約を締結したと発表した。Corvidia 社は心腎疾患の治療法の研究開発を行う企業である。ノボはアテローム性動脈硬化症性心血管疾患と炎症を併発している慢性腎臓病患者を対象として臨床試験中の ziltivekimab を取得している。同剤は IL-6 に対する完全モノクローナル抗体である。糖尿病と密接なかかわりがある慢性腎臓病の治療薬候補と、心腎疾患に強みを持つ同社を獲得することで、心血管代謝疾患分野でのプレゼンス強化を進めていきたい考えである。

## IV. 展望

### I. 守るか攻めるか。

少し前の日曜 20 時、NHK で大河ドラマ「独眼竜正宗」総集編を見た。勝新太郎の迫力はさすがだったが、それを見て今回の「麒麟がくる」が沢尻エリカの覚せい剤騒動で放送延期になったことを思い出してしまった。大麻所持での逮捕歴がある勝新太郎のシーンをカットしても良かったのだろうが、敢えて放送したのは、流す価値があるからだろう。そしてやはり見応えがあった。セリフは少ないが、伝わってくるものは多い。

「独眼竜正宗」の放送と前後して、テレビの世界では様々なトラブルが発生していた。不倫騒動や緊急事態宣言下での飲食で、活動を休止したり所属事務所を退所したり、当事者 2 人は、しばらくテレビで見かけることはないだろう。

今のテレビ局は大変だ。高い倫理観を求められ万人に嫌われないようにしなければならない。例えば視聴率 15% を狙うとき、単に 15% の人が喜ぶコンテンツ作りをすればよいのではなく、100% の人に嫌われないということも求められる。テレビという産業はいまでも動画コンテンツ配信というビジネスでは王者でありほとんどの日本人は 1 週間の間にテレビを少なくとも 1 度は見ているだろう。また、スポンサーという存在もある。スポンサーはテレビのコンテンツが面白いかどうかより、自社が消費者に気に入られるかを気にする。

動画コンテンツ配信ビジネスでは、アマゾンプライムや Netflix のような Web での有料配信サービスや YouTube のような基本無料のサービスの勢いが強いし面白い。彼らは視聴者を 100 万人獲得しようとしたら、100 万人が喜ぶコンテンツを提供することに専念できる。自分たちの提供するコンテンツが面白ければ見るし、面白くなければ見ない。それだけの単純な話なので、不快だと思ふ人の意見にあまり気を留めなくてよい。不快だと思えば、解約されるだけであり単純だ。

テレビは規模が大きくなりすぎた。これから新しいチャレンジをしたからと言って得られる視聴者はそれほど多くないだろう。一方で失敗をした時に失う視聴者の数は計り知れない。テレビ産業自体が守りに入らざるを得なくなっている。対する新興の動画コンテンツ配信サービスは守るものが少ないので積極的に攻めることができる。良いコンテンツであれば、沢尻エリカもピエール瀧も登場する。

攻める側は、一転集中してそこを攻めればよいのだろうが、守る側は様々なところに気を配らなければならない。巨人であっても手が回らなくなるのだろう。栄枯盛衰と言われるが、栄えれば守るものも増える。それが終わりの始まりなのだろう。(武田)

## V. 市場動向レポート

### I. 遠隔という手段

我々もリモートワークにだいぶ慣れてきた気がする。Web を通じての会議もそれなりにこなせるようになってきた。ただ、やはり **Web** での会議は**直接の面談とは異なる**。筆者の体験では、雑談の時間が少なく目的が終わればログアウトしてしまう事が多い。直接の面談であれば、冒頭と辞去の際、それぞれ雑談のチャンスがあるが、それがほとんどない。

また、こちらが訪問する際は、相手先のオフィスの周辺の環境や、受付の雰囲気、会議室のレイアウトなど、様々な情報を得られるし、訪問される側は、オフィスをどの街にするのか、自社スペースのレイアウトはどうするのかなど決めることで、**相手の受ける印象をある程度コントロールできる**。Web ではできない芸当だ。

これらが無いからだろうか、それとも筆者が慣れていないだけなのか、**Web** でしかあったことがない人には、直接会う人と比べて印象に残りにくく、**心の距離も少し遠いように感じる**。一方で何度か会っている人と Web 会議をする分には、すでにある程度の関係が出来ているため、このようなことは起こりにくい。

新型コロナウイルス感染症を契機に、医療機関も初診から遠隔診療を積極的に使っていこうという動きがある。筆者は **Web** を使った遠隔診療に関し、賛成も反対もない。無駄に規制をする必要は

ないと思う。便利で有効な道具であれば使っていくべきだと考えている。

ただし、冷静になって考えなければならぬのは、遠隔医療は対面診療とは様々な部分で異なるという点だ。対面診療の場合、患者は施設の中に入ると、受付の人と言葉を交わし、待合室で院長か誰かのセンスのレイアウトを楽しみながら診療の時間を待つ。この流れが遠隔診療にはない。もちろん医師と直接会うこともない。

**医療は医療者と患者の信頼関係が重要**だ。筆者は遠隔診療を受けたことがないが、初診から **Web** であれば、心の距離が縮まるまで時間がかかるのではないかと思う。目視で分かる部分や問診により聞き出せる部分も多々あるだろうが、患者からの積極的な情報開示があるかどうかは疑問が残る。患者も隠そうとするわけではないだろうが、遠慮してしまうということはあるだろう。

遠隔診療に関しては新技術を導入したい推進派と、既得権益を守りたい慎重派がいるように見えるが、遠隔診療は電話やメール、FAX と同じ通信手段に過ぎない。道具なのだから適した使い方もあれば、適さない使い方もある。どのような疾患に適しているかと言った平面的な部分だけではなく、患者との距離感も含めて、**どのような時に使うべきか考える必要がある**だろう。(武田)

VI. 数字で見る医療提供体制（都道府県別医療機関数 20年4月）

	施設数					病床数			
	病院	療養病床を有する病院 (再掲)	一般診療所	療養病床を有する一般診療所 (再掲)	歯科診療所	病院	療養病床 (再掲)	一般診療所	療養病床 (再掲)
全 国	8 260	3 609	102 638	735	68 302	1 515 117	295 998	88 609	7 388
01 北海道	550	237	3 366	36	2 868	92 408	20 232	5 538	416
02 青森	94	36	867	11	517	17 031	2 606	1 854	93
03 岩手	92	29	866	9	567	16 486	2 250	1 233	98
04 宮城	138	53	1 672	11	1 054	25 072	3 429	1 444	91
05 秋田	66	23	799	6	430	14 387	1 902	709	77
06 山形	67	22	913	6	482	14 218	2 068	631	65
07 福島	126	47	1 332	8	847	24 378	3 063	1 163	60
08 茨城	174	80	1 744	12	1 393	30 883	5 587	1 614	118
09 栃木	105	56	1 458	7	978	20 786	4 094	1 581	56
10 群馬	129	62	1 556	4	983	23 586	4 077	995	44
11 埼玉	342	122	4 384	3	3 560	62 874	11 325	2 591	34
12 千葉	290	120	3 825	9	3 252	59 428	10 456	2 158	115
13 東京	637	242	13 870	11	10 671	126 024	22 652	3 678	138
14 神奈川	336	121	6 857	9	4 942	73 656	13 163	2 295	139
15 新潟	125	42	1 662	1	1 143	26 738	3 780	544	19
16 富山	106	50	760	1	444	15 599	4 124	439	12
17 石川	91	39	873	2	482	16 861	3 320	848	16
18 福井	67	28	576	10	300	10 472	1 808	965	131
19 山梨	60	28	699	5	433	10 684	2 036	457	36
20 長野	126	55	1 568	13	1 009	23 239	3 461	841	129
21 岐阜	97	49	1 592	20	961	19 894	3 071	1 524	232
22 静岡	171	82	2 711	4	1 757	36 931	9 225	1 857	56
23 愛知	322	156	5 462	20	3 732	67 108	14 222	3 697	210
24 三重	93	49	1 516	15	819	19 610	3 927	1 121	194
25 滋賀	57	29	1 094	1	565	14 110	2 636	487	17
26 京都	164	54	2 454	2	1 296	33 339	4 537	695	25
27 大阪	512	216	8 531	5	5 506	104 856	20 802	2 145	44
28 兵庫	348	154	5 128	15	2 992	64 200	13 022	2 529	133
29 奈良	76	33	1 218	3	677	16 116	2 763	435	34
30 和歌山	83	37	1 018	11	529	13 020	2 297	832	122
31 鳥取	43	25	489	3	259	8 421	1 814	445	18
32 島根	48	27	710	2	264	10 078	1 879	443	10
33 岡山	161	73	1 648	28	993	27 546	4 245	2 027	322
34 広島	237	117	2 556	36	1 538	38 127	8 456	2 630	379
35 山口	143	74	1 239	9	654	25 440	8 052	1 421	101
36 徳島	107	60	722	14	427	13 873	3 943	1 458	103
37 香川	87	36	826	20	473	14 252	2 223	1 379	189
38 愛媛	135	71	1 216	18	660	20 905	4 574	2 271	201
39 高知	122	76	541	2	356	16 333	5 045	1 213	12
40 福岡	456	211	4 717	90	3 065	83 276	18 601	6 851	778
41 佐賀	101	55	691	33	412	14 481	3 981	2 165	273
42 長崎	149	66	1 348	41	721	25 837	6 014	3 279	387
43 熊本	210	98	1 469	47	845	32 976	7 779	4 528	478
44 大分	153	49	943	26	536	19 842	2 618	3 536	242
45 宮崎	137	62	883	21	497	18 661	3 563	2 357	206
46 鹿児島	237	119	1 368	68	799	32 425	7 532	4 808	652
47 沖縄	90	39	901	7	614	18 650	3 744	898	83